



# 市民総参加子ども育成運動

## 子どもへのまなざし運動特集

子どもは、まちの宝。大人どうしがつながり育む、子どもへのまなざし100%のまちを目指して

今年も「子どもへのまなざし運動」を家庭で、地域で、企業で、学校で大いに取り組み、子どもたちの笑顔輝く、素敵さがのまちをみんなで作くりましょう。

### 青少年センターに来てみませんか

青少年センター

10月1日(土)、佐賀バルーンミュージアム(松原2丁目)3階に「佐賀市青少年センター」が開館しました。開館から1カ月が経ち、毎日たくさんの青少年が利用しています。特に放課後や土・日は青少年でいっぱい!「フリースペース」で話したり、食事や勉強など思い思いの時間を過ごしています。集中して勉強できる「個別学習室」は朝から満室になるほどの人気です。「多目的室」では、卓球やダンスも楽しめ、順番待ちをしている時も広いフリースペースで楽しく過ごしています。音楽室では歌や楽器のパーソ練習もできます。大勢で活動できる会議室や調理室、ミシンも設置されている青少年センターを思いっきり使って、新しいこと、やってみたいことにどんどんチャレンジしてみよう!



### 親子ふれあい看板作り

まなざしリポーター 野勝

「お母さん、帽子の色は赤でいいの?」「そうよ、丁寧にペンキを塗るのよ。」 諸富北小学校の体育館からにぎやかな親子の会話が聞こえてきます。9月3日の土曜授業で、3年生は初めての企画「親子ふれあい活動・交通安全看板作り」を行いました。町交通安全協会から交通事故の話聞いた後、看板作りの説明を受けました。作業に取りかかった子どもたちの顔は、お父さんやお母さんが側で手伝ってくれる嬉しさでいきいきと輝いています。親子で話し合い、笑い合い、たくさんふれあひながら「交通安全」の願いが込められた素敵な看板ができて上がりました。完成した看板は地域に立てられ、交通事故防止に大いに役立つことでしょう。



### 設立10周年おめでとうございます!

まなざしリポーター 熊本 由美子

8月下旬、市内のホテルで子どもも大人も楽しめるパーティが開かれていました。NPO法人キッズの森の設立10周年記念パーティです。NPO法人キッズの森の主な活動は、子育て支援と長期休暇時の学童保育で、10年続く団体は県内でも珍しいケース。この日は佐賀の子育てサクルの第一人者であり、主宰者の先生の誕生日と重なりました。卒業生も集まってお祝いサプライズがあり、過ごしてきた時間の深さがつまっていたように思いました。こちらの得意な事業のひとつに「島に冒険」というものがあります。「子どもは立体的な空間で生きているのだから、ひみつ基地作りを共有するような気持ちを持って、子どもが先につながる」のだそうです。これからの子ども時代の原風景に思いを照らしながら、子どもたちとともに冒険を続けたいと思います。



### 町区一斉ラジオ体操

鍋島小学校地域教育コーディネーター 堀典子

8月1日(月)、鍋島まちづくり協議会福祉・健康部会の事業「町区一斉ラジオ体操」が行われました。平日でしたが、町区の皆さんや子どもたち、鍋島小学校の先生たちなどたくさんの参加がありました。鍋島小学校に集合し、スポーツ推進委員と鍋島小学校6年生の体操指導で楽しく、真剣にラジオ体操を行いました。鍋島まちづくり協議会は、校区の各種団体や鍋島小・中学校の先生たちにも参加していただき、今年3月1日に発足しました。地域の子どもたちを地域で育てる意識もさらに深まっているように感じます。今回のラジオ体操を通じて、子どもたちがたくさん見守り、声かけの場面を見ることができました。まさに子どもへのまなざし運動を実感しました。



### 夏休み宿題お助け隊

川副中学校地域教育コーディネーター 竹下 孝英

夏休み期間中の7月下旬と8月上旬の計10日間、西川副公民館でまちづくり協議会主催「夏休み宿題お助け隊」が開催されました。西川副小学校の児童40人が参加し、問題プリント、ポスター、書き方、読書感想文等の宿題に挑戦しました。お助け隊では、1日2、3人の川副中学校の生徒ボランティア(延べ20人)、高校生、まちづくり協議会役員の元教師等6、7人が先生役を務めました。さすがに中学生と上手に会話しながら、立派に指導してくれました。普段は教えてもらえない経験となったようでした。小中学生や高校生、地域の皆さんが和やかな雰囲気の中でお互いに交流している姿を見て、素晴らしい取り組みだと感じたひとときでした。



### 職場体験

子どもへのまなざし運動推進専門官 吉木 知也

市内の中学校では、進路指導の一環として、区内や市内の企業・公共施設で職場体験を実施しています。もちろん、「子どもへのまなざし運動」に登録されている企業にもご協力をいただいています。昭栄中学校と大和中学校の職場体験の様子取材しました。いろいろな職場で2、3日間の日程で、仕事内容の説明を聞いたり、仕事を体験したりもしています。中学生にとっては、仕事に従事する人とともに活動することで、仕事の大変さはもちろん、その仕事の大切さややりがいを感じたようです。学校の学習だけでは得ることができない、働く意義や金銭感覚についても考えるいい機会となりました。また、将来の夢を膨らませることもつながると感じた1日でした。



### 問い合わせ

佐賀市教育委員会 社会教育課 子どもへのまなざし運動推進室  
〒840-0083 松原2丁目2番27号 佐賀バルーンミュージアム3階 佐賀市青少年センター  
☎40-73554 FAX 24-26662 ✉shakaikyoku@city.saga.lg.jp